

平成30年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について 【小学校】

下松市教育委員会

結果の公表に
あたって

平成30年度「山口県学力定着状況確認問題」（平成30年10月24日実施）の結果についてお知らせします。

本調査は、小学校4～6年生と中学校1、2年生を対象として、国語、算数・数学（小学校5年生は社会・理科、中学校2年生は社会・理科・英語も実施）の学力の状況や児童生徒の生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、学校と家庭・地域が連携・協働し、一体となった取組を推進してまいります。

教科に関する
問題の結果に
ついて

- 【国語】 すべての学年で県平均正答率を上回っているか、同程度である。
- 【算数】 すべての学年で県平均正答率を上回っている。
- 【社会】 県平均正答率を上回っている。
- 【理科】 県平均正答率を上回っている。



→ どの教科も、県平均正答率を上回るか、同程度の結果です。一方で、**記述式問題（考えを書く、理由や方法を説明する等）**は正答率が低く、一定の成果は見られるものの引き続いての課題といえます。授業等で**各教科に応じて、考えたことを分かりやすく表現する力**の育成を図る必要があります。

◎（市平均正答率の高かった問題） ▲（市平均正答率の低かった問題）

国語

- ◎ 漢字を正しく読むこと（4年、5年、6年）
- ◎ 慣用句の意味を理解し、使うこと（5年、6年）
- ▲ 文章を引用して書くこと（4年）
- ▲ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要約しながら読んだり、自分の考えを明確にしながら書いたりすること（5年、6年）



算数

- ◎ 問題場面を線分図に表わすこと（4年）
- ◎ □や△、XやYを用いて、数量の関係を式に表わすこと（5年、6年）
- ▲ 折れ線グラフの変わり方の様子が分かりやすい理由を、根拠を明らかにして記述すること（4年）
- ▲ 体積の違いを筋道を立てて記述すること（5年、6年）



社会

- ◎ 地図記号が表している建造物を判断すること
- ▲ 平均気温と降水量の特徴から、地域を判断すること
また、日本海側の気候の特徴について説明すること



理科

- ◎ 目的に応じて予想を設定すること
- ▲ インゲンマメが育ってしおれた子葉が、インゲンマメの種子のどの部分にあたるかを理解していること



課題の見られた問題例

国語 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ要約しながら読む問題 【5年】

○ 田中さんは、瀧川辨三について、次のような紹介文を書きました。□に入る内容を、後の条件に合わせて書きましょう。

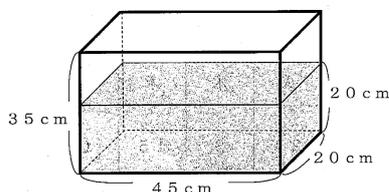
〈条件〉

- 辨三が、こんなに立ち向かい、努力を続けた人だと思う理由を【瀧川辨三について書かれた本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「なぜなら、」に続けて、紹介文にふさわしい表現で書くこと。
- 六十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、句読点（、）や（。）や（「」）も字数にふくむ。

※ 県平均正答率は上回っていますが、20%台の正答率でした。

算数 体積の違いを筋道を立てて記述する問題 【5年・6年】

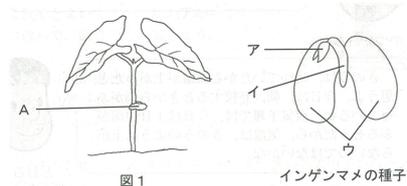
○ 次の図のような直方体の水そう（数字は内のりの長さ）に深さ20cmまで水が入っています。水を深さ10cm分増やしたいと思います。そこで、バケツに8Lの水を用意しました。するとゆうたさんが、「深さ10cm分増やすためには、8Lの水では足りないよ」と話しました。ゆうたさんが、8Lの水では足りないと考えたわけを、言葉や式を使って説明しましょう。



※ 5年生、6年生共通の問題で、ともに20%程度の正答率でした。

理科 子葉という名称と、それがインゲンマメの種子のどの部分にあたるかを答える問題 【5年】

○ インゲンマメが育ってくると、図1のAの部分がしおれていました。Aの部分の名前を答えましょう。また、Aの部分にあたるのは、インゲンマメの種子を切り開いたもののどの部分ですか。



※ 県平均正答率を下回り、30%台の正答率でした。

★ 学 校

- 学校の組織的取組の強化
(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プランの見直し・改善等)
- 児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善
(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)
- 校内研修の活性化と指導の充実
(「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業や研修の充実、「やまぐち学習支援プログラム」や「ジャンプアッププリント」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

- 学習・生活習慣の確立
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- コミュニティ・スクールを生かした学習支援
(地域の人材の活用等)

★ 下松市教育委員会

- 「キラリくだまつ授業づくり」の実践事例の紹介
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定
- 下松市教育研究所における実践研究とその普及